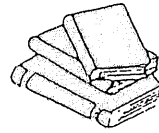


文献目録(小特集 アフリカ諸国における都市社会の再編成)

権利	Copyrights 日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	アフリカレポート
発行年	1989-09
出版者	アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00008675

文献目録



丹埜靖子・井村 進
(図書資料部)

ここにはアジア経済研究所が所蔵する資料を中心に、日本語で書かれたサハラ以南アフリカの都市化に関する資料を収録した。日本で出版された都市化に関する資料はあまり多くないため、60年以降に出版されたものから現在までを対象とした。研究所所蔵の単行書については請求番号を付した。

- 江口一久： 都市と村落の言語文化——カメルーン北部・ディアマレ県のフルベ族の例を中心として 富川盛道編「アフリカ社会の形成と展開」 同朋舎 1980： 113-132 (Ja-39-To 7)
- 藤本利治： 黒アフリカの都市と都市問題 皇学館大学紀要 (18) 1980.1： 11-36
- 藤本利治： ナイジェリアの都市の類型と構造 皇学館大学紀要 (23) 1985： 208-231
- 後藤 晃： ヨルバ地域における商品流通経済の進展と地域構造の変容——都市市場と農村市場 吉田昌夫編「アフリカの農業と土地保有」 アジア経済研究所 1975： 31-76 (Ja-333-Aj 2)
- 原口武彦： アビジャン日誌 西アフリカとの対話 アジア経済研究所(アジアを見る眼 68)1985:163p. (Ja-30-Aj 9)
- 原口武彦： コートジボワール・アビジャン市のスラム街——ゼオ・ブルノ町 堀井・大岩川編 「すまいとくらし」 アジア経済研究所 1989： 198-202
- 原口武彦： コートジボワールの中小企業——政府もその育成に本腰 アフリカ 24(11) 1984.11: 22-26
- 原口武彦： 旧仏領西アフリカにおける都市化——アビジャン市を事例として 小堀巖編「アフリカ」 東京 大明堂 1971： 189-204 (Ja-916-Ko 1)
- 端 信行： アフリカにおける都市=村落関係のモデルをめぐる——ディスカッション・レポート 富川盛道編「アフリカ社会の形成と展開」 同朋舎 1980： 407-412 (Ja-39-To 7)
- 林 晃史： 南アフリカ・ソウェトのアフリカ人簡易住宅問題 堀井・大岩川編 「すまいとくらし」 アジア経済研究所 1989： 218-223
- 林 晃史： 南アフリカ共和国とバンツォー・ホームランドの従属的経済関係 小田英郎編 「70年代南部アフリカの政治・経済変動」 アジア経済研究所 1981： 27-68 (Ja-323-Aj 9)
- 日野舜也： スワヒリ都市における階層化 今西錦司 梅棹忠夫編 「アフリカ社会の研究」 西村書店 1968： 339-348 (Ja-39-Ky 1)
- 日野舜也： アフリカ都市の社会的特性——ウジジにおける階層化と生業分化 アフリカ研究 4 1967： 55-91
- 日野舜也： アフリカ人都市ウジジについて 小堀巖編「アフリカ」 東京 大明堂 1971： 172-188
- 日野舜也： アフリカにおける都市化 アジア研究 29(3) 1982： 32-50
- 日野舜也： アフリカの小さな町から 東京 筑摩書房 1984 226p.
- 日野舜也： アフリカの社会・文化——都市社会 浦野起央他編「現代の世界7アフリカ」 ダイアモンド社 1971
- 日野舜也： アフリカの都市 スチールデザイン (192) 1979： 27-29
- 日野舜也： アフリカの都市におけるイスラム——イスラム化にかんする共同研究報告—— 東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 1968
- 日野舜也： アフリカの都市社会——東アフリカの近代都市とスワヒリ都市を例に 講談社出版研究所編 「エジプト・アフリカ」 (世界の国シリーズ12) 1983： 177-187
- 日野舜也： アフリカの都市と近代化 米山俊直 伊谷純一郎編 「アフリカ・ハンドブック」 講談社 1983： 180-197
- 日野舜也： アフリカ都市研究の視角 アフリカ研究会編「アフリカ諸国における経済自立(続)」 アジア経済研究所 1971： 111-149 (Ja-338.9-Aj 61)
- 日野舜也： アダムワ地域社会における都市と村落——北カメルーンのガウンデレとバングブームの場合 富川盛道編「アフリカ社会の形成と展開」 同朋舎 1980： 87-112
- 日野舜也： 東アフリカ都市におけるスワヒリ住民の結婚 アジア・アフリカ言語文化研究 2 1969
- 日野舜也： 東アフリカ都市の近隣集団——スワヒリ・タウン、ウジジの社会関係と社会意識 民族学研究

- 33(2) 1968.9: 105-125
- 日野舜也: 西アフリカ都市のイスラム——北カメルーン, ガウンデレにて クロスロード 17(184) 1981: 50-55
- 細見真也: ナイジェリアにおけるアーバニゼーションの経済分析——その労働供給側面に関する試論 アジア経済 2(3) 1961: 52-65
- 伊高浩昭: 黒い南アの首都ソウェト 同著「南アフリカの内側——崩れゆくアパルトヘイト」サイマル出版 1985: 129-149
- 池野 旬: ケニア——首都ナイロビの交通機関(特集 第三次世界の交通機関) アジ研ニュース(98) 1989.1/2: 40-41
- 池野 旬: ケニア・東部農村の屋敷地 堀井・大岩川編「すまいとくらし」アジア経済研究所 1989: 203-207
- 犬飼一郎: 農村・都市別人口動態 同著「アフリカ経済論」東京 大明堂 1976: 102-109
- 岩城 剛: 都市問題と農村開発 同著「アフリカの自立化と経済」日本国際問題研究所 1982: 174-193
- 川田順造: モシ族における王都の諸性格——テンコドゴ(Tenkodogo)の事例 富川盛道編「アフリカ社会の形成と展開」同朋舎 1980: 3-42 (Ja-39-To 7)
- 川田順造 森本哲郎: 黄金の都市・トンブクトゥ 森本哲郎編「埋もれた古代都市6——アフリカ古王国の秘密」集英社 1979: 197-275
- 木村重信 森本哲郎: 石の都・ジンバブエ 森本哲郎編「埋もれた古代都市6——アフリカ古王国の秘密」集英社 1979: 95-173
- 児玉各史朗: ザンビア・低所得層の住宅難 堀井・大岩川編「すまいとくらし」アジア経済研究所 1989: 213-217
- 松田素二: アフリカの農村と都市(ケニア)——都市・農村関係を理解するために—— 国際農林業協力 7(2) 1984: 71-77
- 松田素二: アフリカ都市出稼ぎ民の再部族化現象——ナイロビのマラゴリ出稼ぎ民の事例から アフリカ研究 (22) 1983: 1-33
- 松田素二: 崩壊か創造か——近代化・都市化の中のアフリカ人家族—— 国際協力 (382) 1987.2: 12-14
- 松田素二: ナイロビにおける出稼民居住区の形成過程——その母村と都市コロニーの関係 季刊人類学 13 (3) 1982: 3-67
- 松田素二: 都市化の諸問題 宮本正興, 岡倉登志編「アフリカ世界」世界思想社 1984: 162-173
- 松下周二: 北ナイジェリア, ハウサ都市の住居(都市住宅セミナー)——文化人類学の目 51— 都市住宅 (7311) 1973: 75-80
- ミッチェル, J.C. 三雲正博ほか訳: 社会的ネットワーク——アフリカにおける都市の人類学 国文社 1983 213
- 三木 且 山形孝夫編: 都市民 日野舜也編「イスラム世界の人々」——5 東洋経済新社 1984 383p. (Ja-297-Is 6(5))
- 宮治美江子: アフリカの都市化におけるvoluntary associationsの役割 林 武編「発展途上国の都市化」アジア経済研究所 1976: 177-205
- 宮治美江子: アフリカ都市の研究 林 武編「発展途上国の都市化」アジア経済研究所 1976: 305-317
- 森本哲郎編: 埋もれた古代都市6——アフリカ古王国の秘密 東京 集英社 1979 260p.
- 森山真弓: カメルーン訪問記——草深い都ヤウンデ— アフリカ 25(11/12) 1985.11/12: 23-24
- 望月克哉: ナイジェリア——「スズ危機」下の鉱山都市ジョス—— アフリカ・レポート (7) 1988.9: 36-37
- 望月克哉: 南ア諸都市のアフリカ人(南アフリカのアパルトヘイト問題) アジ研ニュース (78) 1987.4: 24-25
- 室井義雄: アフリカの農村と都市・ナイジェリア——石油ブーム下の都市と農村 国際農林業協力 712 1984: 61-70
- 永松紀義 小久保恵三: 都市交通計画調査——アフリカ地域 IDCJ季報 (31) 1982.6: 6-8
- ナイジェリアの新首都計画について——丹下健三氏に聞く アフリカ 20(7) 1980.7: 40-43
- 中村弘光: 西アフリカ——域内格差と国際労働移動 柴田徳衛・加納弘勝編「第三世界の人口移動と都市化」アジア経済研究所 1983: 183-200
- 中村孚美: 都市人類学の課題——サハラ以南のアフリカ都市研究から 民族学研究 38 (3・4) 1973: 314-322
- 中島正博: ケニア, キムス街の人びと——タブーが顔を出すとき—— 季刊汎 (12) 1989.4: 30-

- 西江雅之： 花のある遠景——東アフリカにて セリカ書房 1975： 265p.
- 西川めぐみ： アフリカの都市化——労働移動とインフォーマル・セクターの拡大 国際協力推進協会 1985 53p.
- 小倉充夫： 都市化にともなう労働力の移動 同著「現代アフリカの悩み」(NHKブックス511) 1986： 165—175
- 小倉充夫： ザンビアにおける都市化と労働移動 柴田徳衛・加納弘勝編 「第三世界の都市問題」 アジア経済研究所 1986： 219—246
(Ja-301.2-A 10)
- 小倉充夫： 東アフリカ——開発なき都市化の矛盾 柴田徳衛・加納弘勝編「第三世界の人口移動と都市化」 アジア経済研究所 1983： 201—223
(Ja-301.2-A 9)
- 小倉充夫： ケニアにおける都市化と労働移動 国際関係学研究 (9) 1982： 57—67
- 小倉充夫： 開発と発展の社会学 東京大学出版会 1982 xiii 226p. (現代社会学選書)
(Ja-301-Og 2)
- 大森元吉： 地方都市階層再編成過程——ウガンダのカバレ(Kabale)市におけるアジア人排除をめぐる動態 富川盛道編 「アフリカ社会の形成と展開」 同朋舎 1980： 143—172 (Ja-39-To 7)
- 渋谷 実 熊谷達夫 宮田宗彦： ナイジェリア・ラゴス州における都市通勤鉄道建設計画 土木学会誌 66(13) 1981.12： 30—36
- 新谷洋二： エチオピアのアジス・アベバの都市計画 新都市 12(1) n.d.
- 鈴木秀夫： アジスアベバにて 地理 11(9) 1966
- 鈴木八司 森本哲郎： 鉄の都・メロエ 森本哲郎編 「埋もれた古代都市6——アフリカ古王国の秘密」 集英社 1979： 1—94
- 鈴木宇子： アチョリ部族の住居 (都市住宅セミナー)——文化人類学の眼 68—— 都市住宅 (103) 1976： 65—68
- 鈴木宇子： トングエ族の生活と住居(都市住宅セミナー)——文化人類学の眼 66—— 都市住宅 (96) 1975： 91—96
- 田村俊和： カメルーンの土地と都市 地理 27(4) 1982： 99—107p.
- 谷口 穰： 都市における部族 今西錦司, 梅棹忠夫編 「アフリカ社会の研究」 1963： 383—396
- タンザニア都市問題を現地に見る(アフリカ—国際協力の現場から)[タンザニア] 国際開発ジャーナル (349) 1985.11： 18—21
- 東京外語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所編 (富川盛道代表) アフリカ社会の形成と展開——地域・都市・言語—— 京都 同朋舎 1980 455
(Ja-39-To 7)
- 都市労働力の形成パターン 日本労働協会編 「わが国・海外進出企業の労働問題——ナイジェリア」 1978： 31—34 (Ja-331-Ni 20)
- 土屋 哲 中村弘光 中原精一： アフリカの都市問題 東京 勁草書房 1987 vii 239
(Ja-301.2-T 20)
- 渡辺重行： ヨルバ都市の伝統的な政治組織——エキティヨルバの事例と比較の試み—— アフリカ研究 (26) 1985.2： 1—20
- 渡辺重行： ヨルバ族の王国——森林地帯の都市国家と王政 季刊民族学 26 1983
- 和崎春日： アフリカ首長制社会における都市の諸性格——カメルーン国バムン族の都市フンバンの王都性をめぐって 中村孚美編「現代の人類学・都市人類」 至文堂 1984
- 和崎春日： Foubmanにおける祭の成立——西アフリカ・カメルーン バムン県の都市の祭 アジア・アフリカ言語文化研究 (15) 1978： 51—78
- ヤプロチロフ, L.： 都市生活と部族的構造 産業貿易研究 (14) 1962
- 矢内原 勝： アフリカの経済とその発展——農村・労働移動・都市 東京 文真堂 昭55 xi 362p.
(Ja-33-YA 12)
- 矢内原 勝： 発展途上国の労働力移動問題——アフリカの農村から都市への移動を中心として—— 世界経済評論 22(9) 1978： 43—52
- 矢内原 勝： 西アフリカ諸国都市内フォーマル・セクターとインフォーマル・セクター——農村より都市への労働移動—— アジア経済 23(10) 1982.10： 2—19
- 米山俊直： ザイール・ノート——アフリカ：町と村と人と サンケイ出版 1977
- 吉田昌夫： ケニア・ナイロビ郊外の簡易住宅に住む人々 堀井・大岩川編 「すまいとくらし」 アジア経済研究所 1989： 208—212